MyGenX®

Patient Information:

Name:

Gender:

Report Date:

Geneus Health, LLC

Accession Number:

Specimen Type: Buccal Swab

Test Results Reviewed & Approved by Patricia Jeffreys MD, FCAP

あなた自身のより良い理解へようこそ！

Geneus Healthはあなたの遺伝的依存傾向のリスクスコア(GARS®)を提供致します。
このレポートはあなたのDNAの分析に基づいてあなた個人の報酬欠陥症候群(RDS)に関する遺伝的体質の傾向を知るためのものです。RDSは全ての報酬を求める依存的、衝動的、強迫的行動に関わっています。 これらについての科学的開発は数十年にわたって行われてきました。 GARS® は RDSに関する個人の傾向を特定するための研究にもとづき米国内で特許を取得した初めての遺伝子検査です。

遺伝子研究は、遺伝子内の特定の確立されたDNA変異をそれらの行動に結び付けます。 脳内では、神経伝達物質が報酬システムにおけるドーパミン分子の放出を知らせます。 脳内ドーパミンバランスは、 幸福感、ストレスの軽減、意思決定、通常の欲求、記憶、認識、そして健康的なライフスタイルへの動機付け に必要です。

Dr. Kenneth Blum
Founder, Geneus Health

これが何を意味するのですか？継続的にドーパミンが不足している人々は、自分の生活に満足感を感じず、ストレスに対処するのが困難であり、脳内の報酬系で不自然にドーパミンを増加させるための行動への危険を高めます。

報酬欠陥行為

依存性

【物質】
- アルコール
- 大麻
- オピオイド
- 鎮静剤/催眠剤
- 刺激物
- タバコ
- グルコース
- 食品

【非物質】
- スリル（目新しさ）
- 性的サディズム
- 性的マゾヒズム
- ハイパーセクシャル
- ギャンブル
- インターネットゲーム

衝動性

【スペクトラム症候群】
- 注意欠如/多動性障害（ADD/ADHD）
- トゥレット、チック症候群
- 自閉症

【分裂的】
- 行為
- 間欠性爆発性障害
- 反抗挑戦性障害
- 露出症的

強迫性

- 身体醜形障害
- 強迫的集積
- 抜毛症
- 皮膚むしり症
- 非自殺的自己傷害

性格障害

- 被害妄想
- 精神分裂
- ボーダーライン
- 統合失調型パーソナリティ傷害
- 演技性人格障害
- 自己愛パーソナリティ傷害
- 回避性パーソナリティ傷害
- 外傷後ストレス傷害（PTSD）

あなたの検査結果

RDS（報酬欠陥症候群）行動に対する全体的なリスクの約半分（50％）は遺伝的なものです。 対立遺伝子と呼ばれるある種の既知の遺伝的変異（「リスク変異」）は、RDS（報酬欠陥症候群）行動を発症するリスクの増加と関連しています。

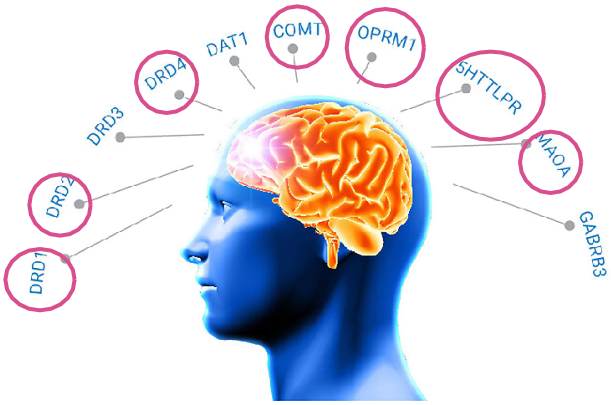
Your GARS® Score:

11

Based on a scale of 1-22

薬物依存リスク
GARSスコアーが4以上の場合薬物依存の高い可能性を示しています。

アルコール依存リスク
GARSスコアーが7以上の場合アルコール依存の高い可能性を示しています。



Risk Behavior Frequency 危険性	物　質 Substance Behaviors	非物質/行為 Non-Substance Behaviors
HIGH 高い	アルコール 大麻 食物 糖質 ヘロイン ニコチン オピエイト／オピオイド セデティブス 刺激剤	ADHD 精神不安 行為障害 ギャンブル ハームアボイダンス ハイパーセクシュアリティ障害 インターネットゲーム ノベルティシーキング 衝動強迫性障害 反抗挑戦性障害 過食 パニック障害 病的攻撃 心的外傷後ストレス障害 ストレス
MODERATE 軽度	コカイン	

重要：報酬欠陥症候群の50%は遺伝的なものであり その他の50%は環境因子による。環境因子を減らせば 報酬欠陥症候群のリスクは下がる。

精密アディクションマネジメント、精密行動マネジメント、restoreGen®, GARS®未来はここにあります！ RDS遺伝子（報酬システム）の遺伝的変異を理解することは、より直接的な依存症/行動管理の改善と回復の質の向上に役立ちます。Geneus Healthによって開発された精密アディクションマネジメント®および精密行動マネジメントは、研究されたGARS®テストを通じてこれらのリスク遺伝子変異体を標的とし、カスタマイズされたrestoreGen®神経栄養プロドーパミン調節物質を特定させます。
特許を取得した科学およびプロドーパミン調節物質療法のシステムは、RDS管理に正確なアプローチをもたらします。
遺伝子検査におけるこのエキサイティングな新開発は、低ドーパミン機能を明らかにして、出生時に存在する遺伝的欠陥を特定するのに役立ちます。テストは、人の 行動に対する素因の遺伝情報のロックを解除し、その人の脳のドーパミンのバランスを整えるために役立つカスタマイズされた神経栄養RDS製品と組み合わせます。

11

GARS® Score

List of Variants in your Genes:
あなたのリスク遺伝子

COMT ☑	DRD1 ☑	DRD2/ANKK1 ☑
DRD4 ☑	OPRM1 ☑	MAOA ☑
5-HTT-LINKED ☑		

推奨されるrestoreGen®： POLYGEN
この遺伝子検査に基づく特許取得済みの処方は、報酬の欠乏または全体的な幸福の欠如につながる遺伝子障害によるセロトニン、エンドルフィン、GABAおよびドーパミン欠乏を克服するための精密な補足を提供するために開発されました。

POLYGEN®

サマリーガイド：DNAが示すことは…

遺伝子変異	遺伝的リスク
ドーパミンCOMT遺伝子のG対立遺伝子	物質：アルコール、大麻、コカイン、糖質、ニコチン、オピオイド、覚醒剤 非物質行為：ADD/ADHD、精神不安、インターネットゲーム、衝動強迫性障害、反抗挑戦性障害、パニック障害、病的攻撃
ドーパミンD１受容体のA対立遺伝	物質：アルコール、ニコチン 非物質行為：ノベルティ欲求
ドーパミンD２受容体のA1対立遺伝子	物質：アルコール、大麻、コカイン、糖質、ヘロイン、ニコチン、オピオイド 非物質行為：ADD/ADHD、行為障害、ギャンブル障害、性欲過剰障害、インターネットゲーム、ノベルティ欲求、病的攻撃、心的外傷後ストレス障害
ドーパミンD３受容体のC対立遺伝子	物質：コカイン、糖質 非物質行為：ADD/ADHD、衝動強迫性障害、病的攻撃
ドーパミンD４受容体のC対立遺伝子	物質：アルコール、大麻、糖質、ニコチン、オピオイド 非物質行為：ADD/ADHD、行為障害、性欲過剰障害、ノベルティ欲求、病的攻撃
OPRM1遺伝子のG対立遺伝子	物質：アルコール、コカイン、糖質、ニコチン、オピオイド 非物質行為：過食、心的外傷後ストレス障害、ストレス
DAT1遺伝子の9R対立遺伝子	物質：アルコール、コカイン、ヘロイン、ニコチン 非物質行為：ADD/ADHD、うつ、心的外傷後ストレス障害、
5-HTTLPR遺伝子のS又はLG対立遺伝子	物質：アルコール、大麻、コカイン、糖質、ニコチン、オピオイド 非物質行為：ADD/ADHD、病的攻撃、心的外傷後ストレス障害
MAOA遺伝子の4R対立遺伝子	物質：アルコール、糖質、ニコチン、オピオイド 非物質行為：ADD/ADHD、損害回避、ノベルティ欲求
GABRB3遺伝子の181対立遺伝子以上	物質：アルコール 非物質行為：心的外傷後ストレス障害

GARS® TEST RESULTS

Single Nucleotide Polymorphisms (SNPs)				
Gene	Identifiers	Risk Allele	Patient Results	Risk Allele Count
COMT	rs4680 (Val158Met)	G	G/G	2
DRD1	rs4532	A	G/A	1
DRD2/ANKK1	rs1800497 (Taq1A)	A	A/G	1
DRD3	rs6280	C	T/T	0
DRD4	rs1800955	C	C/C	2
OPRM1	rs1799971	G	G/G	2
Variable Tandem Number Repeats & Insertion/Deletions				
Gene	Identifiers	Risk Allele	Patient Results	Risk Allele Count
DAT1	rs28363170	< than 9 repeats	10R/10R	0
5-HTT-LINKED	rs4795541	S, LG	S/S	2
MAOA	rs768062321 (chrX*)	3.5R, 4R	3R/4R	1
DRD4	rs761010487	≥ 7 repeats	4R/5R	0
Dinucleotide Repeat				
Gene	Identifiers	Risk Allele	Patient Results	Risk Allele Count
GABRB3	rs764926719	181	187/193	0

Score

薬物依存のリスク >4 対立遺伝子
アルコール依存症リスク >7 対立遺伝子

11
男性　21点中
女性　22点中

* 遺伝的に典型的男性にはMAOA遺伝子が存在します

免責条項

GENEUS Health、LLCは、そのパートナーであるGeneus Diagnostics、LLCを介して、米国保健社会福祉省臨床検査室改善修正法（CLIA）に従って、米国病理学者大学（CAP）によって認定された施設内検査室です。Geneus Diagnosticsはテキサス州公衆衛生局によって認可されており、ほぼすべての州で全国的にライセンスを取得しています。
方法論と限界：1）QuantStudio 12K Flex上のTaqMan®対立遺伝子特異的プローブを用いたリアルタイムPCR、または2）AgenaMassARRAY®システム上のiPlex試薬、および3）Proflex PCRおよびサイズ分離を用いて、遺伝的変異の試験を行いました。SeqStudio Genetic Analyzerを使用。全ての遺伝子検査は、Geneus Diagnostics、LLC、5726 West Hausman、San Antonio、TX、78249-2001によって行われます。
ラボ認定：CLIA＃45D2092474、CAP＃9261162
この試験は、変化したまたは不活性な試験遺伝子をもたらす全ての既知の対立遺伝子を検出するわけではありません。このテストはテストされた個人のすべての変化を説明するものではありません。試験結果は、この個体がこの遺伝子パネルによって検出されない他の突然変異／変異の保因者であり得るという可能性を排除しません。これらの対立遺伝子を取り巻くまれな変異も遺伝的変異の検出に影響を与える可能性があります。
個人は、これらの検査結果の意味を説明するために適切な遺伝カウンセリングを受けるべきです。アッセイ性能および推奨に至るアルゴリズムの詳細は、必要に応じて利用可能です。この検査室開発検査（LDT）の分析的および性能的特徴は、臨床検査室改善修正法（CLIA'88）要件に従ってGeneus Diagnostics検査室によって決定されました。
注：このレポートはFDAによって評価されていません。本製品は、病気の診断、治療、治癒、予防を目的としたものではありません。